



【研究発表・講演】 沖縄・九州地区（大分）

日時：2011 年 6 月 4 日（土）13：00～17：30

会場：立命館アジア太平洋大学（APU）

〒874-8577 大分県別府市十文字原 1-1

交通：http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_apu_j.html

参加費：学会員=500 円 一般=1,000 円 * 当日受付

問合先：小山 悟（九州大学留学生センター） e-mail：koyama@isc.kyushu-u.ac.jp

主催：社団法人 日本語教育学会

当日の流れ：13:00

開会の挨拶

13:05～15：50 ポスター発表 * 口頭発表より 15 分早く始まります

13:20～15：35 口頭発表

16:00～17：30 講演

17:40 閉会

<会場 1> 口頭発表 13：20～15：35

13：20～13：50 聴解力向上のための e ラーニング活用

—日本語中級レベルの学習者対象のアカデミックリスニング—

早瀬郁子（佐賀大学）

13：55～14：25 短歌で学ぶ日本語 —韓国人大学生，韓国の中心で愛を叫ぶ—

近藤有美（長崎外国語大学）

14：30～15：00 ニュースを使った日本語教育の再考 —中上級学習者への授業報告—

川崎加奈子（長崎外国語大学）

15：05～15：35 学習意欲を引き出す教材・教え方の工夫 —英語教育から日本語教育へ—

横溝紳一郎（佐賀大学）

<会場 2> 口頭発表 13：20～15：35

13：20～13：50 日本語母語話者と非母語話者の発話に見られる「まあ」の使用傾向

黄英哲（大葉大学）

13：55～14：25 発話の「重なり」に関する一考察

—日本語話し言葉コーパス（CSJ）の「自由対話」を用いて—

呉秦芳（真理大学）

14：30～15：00 多義的副詞に関する音声指導の試み

浅田和泉（佐賀大学）

15：05～15：35 日本語の否定丁寧形「～ません」と「～ないです」について

古川俊雄（日本文理大学）

<会場3> 口頭発表 13:20~15:35

- 13:20~13:50 留学生と日本人学生の持続的交流に向けて
—スタディツアーから見えてきた交流の壁—
山田智久（佐賀大学）
- 13:55~14:25 言葉の使い分けから日本文化を考える —「わきまえ」の観点から—
茅田美有紀（長崎大学）
- 14:30~15:00 EPA 看護師候補生の職場適応に関するエスノグラフィー
—契約解除に至った候補生の ケースから—
嶋ちはる（ウィスコンシン大学）
- 15:05~15:35 「こども日本語サポーター養成講座」の取り組み
—散在地域である佐賀県に暮らす子供たちを支援するために—
貞松明子・早瀬郁子（佐賀大学）

<会場4> ポスター発表 13:05~15:50

- ◎中級・上級日本語学習者の作文に見られる条件表現
—条件形式に代わる形式の使用について—
井脇千枝（九州外国語学院）
- ◎中国人学習者の可能形の運用について
—『J-Bridge』をメイン教材とした気付きの指導—
瀬川綾子（九州外国語学院）
- ◎会話テストの実践を通して見えてきた変化と今後の展望
—意識をもって授業を変える—
小畑美奈恵・立部文崇・戸上理恵子・佐野千亜紀・堀井忠大・高野涼子
（明日香美容文化専門学校）
- ◎ブレンディッドラーニングによる中上級日本語学習者の読解力と聴解力の習得過程の違いについて
篠崎大司（別府大学）

<講演> 16:00~17:30

「教育現場から実践研究への道 —「実践報告」論文には何が必要か—」（仮題）

講師：松見 法男 氏（広島大学）